

ティーダフラッグス2025

質疑回答書

応募要項に関する事項		
質疑1	応募条件(Ⅱ)の建築士志望者(無資格者)で、個人自業主として企業や他設計事務所から業務委託を受けている者（設計事務所へ無所属の者）は個人で応募できますでしょうか。	質問日
		R7.10.3
回答1	応募要項 1、(6)、Ⅱ、ア、d 及び応募要項 1、(6)、Ⅱ、イにより、沖縄県土木建築部の建築関係コンサルタントとして登録が有効な法人等に属している必要があります。	回答日
		R7.10.23
整備提案書に関する事項		
質疑2	敷地のCG又は模型作成の際に、土地レベルの表記がある方がより作りやすく、建物の完成イメージも分かりやすいので、JWWデータに入力いただくことは可能でしょうか。	質問日
		R7.10.8
回答2	公開している配置図のBMのレベル表記と既存平面図のレベル表記を参考にしてください。	回答日
		R7.10.23
質疑3	整備提案書（5）その他留意事項②建築計画（カ）より、伐採範囲が分かったほうがより計画しやすい為、航空写真などに具体的な伐採範囲を図示することは可能でしょうか。	質問日
		R7.10.8
回答3	現在の休憩所から海を臨む眺望を確保するよう伐採予定です。 現時点で伐採範囲を明示するのは困難です。	回答日
		R7.10.23
質疑4	整備提案書（5）その他留意事項②建築計画（オ）より、照明等の設備設置は不要とするとありますが、設計者側で自由に提案することは可能でしょうか。	質問日
		R7.10.8
回答4	照明設備について、現況及び利用状況を勘案すると採用する見込みはありません。	回答日
		R7.10.23

質疑5	改修工事を選択した場合、既存建物の構造計算書、構造図、耐震診断書が不明であるとの事で改修後の安全性の証明が難しいかと思いますが、安全性の担保及び責任の所在は原則として提案者側に帰属するとの理解でよろしいでしょうか？	質問日
		R7.10.9
回答5	改修時の安全性の証明は、実施設計時の設計者に帰属するので、改修工事を選択した場合、安全性の証明方法まで提案する必要があります。	回答日
		R7.10.23
質疑6	築年数が1979年と記載があり旧耐震基準の可能性もあります。案が決定した後、実行可能か調査をしたところでは既に現行の耐震基準を満たさず、案のやり直しの可能性も十分にあると思い、そもそもの採用案としての実行力が果たしてあるのか疑問に思います。想定した調査結果が得られなかった場合は調査内容に合わせて案の大幅な修正について想定されてますでしょうか？	質問日
		R7.10.9
回答6	実施設計時の調整によっては、コンセプトは残しつつ、計画案の見直しは想定しています。	回答日
		R7.10.23
質疑7	改修の選択肢を検討するにあたり、構造図が必須だと考えますが資料の提供は可能でしょうか。	質問日
		R7.10.9
回答7	構造図が現存しないので、実施設計時に検討する必要があります。	回答日
		R7.10.23
質疑8	霊域ゾーンにおける月間、年間の利用者数をご教示ください。	質問日
		R7.10.9
回答8	利用者数は把握していませんが、令和6年度における事前利用申請数と、駐車場の利用台数は別添のとおりです。ゾーン毎の利用者数は集計しておりません。	回答日
		R7.10.23

質疑9	建て替えとした場合、昨今の社会情勢や第11回の展望台（規模感も同等）で予算が2000万のため同等規模の本施設整備を考慮するととても厳しい予算感だと考えておりますが、1500万円となった経緯をご教示ください。（例：過去の事例を参考にした金額なのか、建築事業者にヒアリングをした結果なのか等）	質問日
		R7.10.9
回答9	国の予算単価による積算及び過去の類似実績を踏まえて設定しています。	回答日
		R7.10.23
質疑10	公園内には今回の敷地の他にも屋根付きの休憩所が複数見られました。これら休憩所が建設された年代を可能であればご教示ください。	質問日
		R7.10.9
回答10	別添のとおりです。	回答日
		R7.10.23
質疑11	既存休憩舎の設計者名、設計事務所名、竣工年を教えてください。	質問日
		R7.10.10
回答11	設計者名・事務所名：不明 竣工年：1979年（昭和54年）	回答日
		R7.10.23